



みんなであそぶ

先日、自己推薦入試の志願状況が発表されました。入学願書の受付が1月27日、28日の二日間で行われ、2月4日には総合問題や作文、面接、適性検査などが実施されます。自己推薦入試では、高等学校ごとに「求める生徒像」が示されています。例えば、

a「学習活動にまじめに取り組み、入学後も向上心をもって学習に取り組む者」【笠田高等学校】

a「学習活動において熱心に取り組んだ実績があり、総合クラスの特色をよく理解し、国公立大学等への進学をめざす意欲のある者」【高瀬高等学校】

a「工業に関する知識や技術・技能を高めようとする強い意志と向上心があり、入学後、ものづくりや資格取得などに目的意識をもって取り組む意欲のある者」

【観音寺総合高等学校】

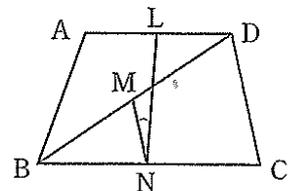
b「特別活動及び学校内外における文化活動、体育活動、奉仕活動等において、すぐれた成果や熱心に取り組んだ事実があり、入学後も積極的に取り組む意欲のある者」【多度津高等学校】

b「部活動や生徒会活動等の特別活動において、すぐれた成果や熱心に取り組んだ事実があり、入学後も継続して活動する意欲のある者」【琴平高等学校】 などです。



1月24日の金曜日に、自己推薦入試に向けて面接練習の試験官をしました。私は、練習終了後に「もし、付け加えたり、練習したりしたければいつでも来てくださいね」と声を掛けました。すると27日の月曜日に一人の生徒がやってきました。面接の話をした後、「総合問題の数学の難しい問題が解けないんです」と言われたのでやや難問を渡し、「明日、自分で選んで1つだけやって持ってきますか」と伝え、教室に帰りました。次の日の昼休み、問題を解いて持ってきました。正解していました。また新たな問題を渡しました。その次の日は、私が出張でいないため、もし校長室に来た時のために事務室にいる3人の職員に同じ問題を解いてもらい、解答を共有しておきました。その時の問題を紹介します。

4 〈中点連結定理の利用①〉 右の図のように、 $AB=CD$ の四角形 $ABCD$ で、
□辺 AD ，対角線 BD ，辺 BC のそれぞれの中点を L ， M ， N とする。 $\angle ABD=35^\circ$ ， $\angle CDB=67^\circ$ のとき， $\angle LNM$ の大きさを求めなさい。



中学校3年生で学ぶ中点連結定理を使う問題です。「答えは 16° です。」(同位角や錯角、平行線、補助線も使います) 昼休み、事務室の職員も真剣に考えていました。学んだことを一生懸命に思い出しながら考えていました。誰一人初めから取り組まない選択をした人はいませんでした。なぜ 16° になるのかを考え、一緒に解答までたどり着きました。赤井教頭先生や住友先生が事務室にやってきたので同じ問題を出しました。一生懸命考えていました。事務室の3名の職員は、自分が理解したことを一生懸命に説明していました。まさにみんなで学んでいました。私たち大人が問題を解く必要はないかもしれませんが、一人の中学生の学びが私たちみんなの学びの振り返りとなり、対話が広がりました。

今、3年生は、入試に向けて知識の習得に励んでいると思います。せっかく頑張っているんだから暗記するだけでなく、「なんでこうなるんやろ?」と自ら理由を考え、みんなで学んでみてください。きっとこれからの人生の役に立ちます。1年生や2年生も先生たちから知識のみを教わるだけでなく、自分から「はて?」を見つけて学んでいってください。これからの詫間中学校は、「はて???」を見つけてみんなで学んでいく集団となります。今からスタートです。【三年生!がんばれ!!!】